



報道関係者各位
プレスリリース

平成 24 年 1 月 20 日
ワシントンワイン協会日本代表事務所

ワシントン州に 12 番目のAVA承認

～Naches Heights ナチェス・ハイツがワシントン州の 12 番目の AVA と承認される～

ワシントン州は、2011 年 12 月 12 日に Naches Heights を州の 12 番目のAVA(American Viticultural Area) –政府認定のワインぶどう栽培地域–として承認を受けました。

Naches Heights は、ヤキマ群にあり、ヤキマ市の北西にある Naches と Tieton という小さな町の間にあります。百万年前に安山岩の溶岩が流れて出来た地域で、コロンビアヴァレー内のサブリージョン(小区域)となり、北と東を Naches River ナチェス川で囲まれ、西は Tieton River ティートン川、南と西を Cowiche Creek カウイチエ・クリークで囲まれています。安山岩の崖は、北、東、南側への境界ともなっています。

地域面積は、13,254 エーカー(5363 ヘクタール)で、標高は 1200 – 2100 フィート(366～640m)に位置し、周りの地域からは高くなっています。台地は、大体において平坦で、南東から北西にかけてゆるやかに高くなっています。標高の高さとゆるやかな勾配は、冷たい大気を低い部分にながしてくれます。

Naches Heights は、ミズーラ洪水(一万年程前に何度も繰り返し起こった大異変の出来事)で被害を受けた地域より上にあることから、他の多くのワシントン州のワイン生産地域とは異なっています。ミズーラ洪水の地域の土壌は沖積土ですが、Naches Heights の土壌は、風により運ばれた土壌が積もって出来るレス(地質)です。また土壌は、粘土質も多く含み、水分を保つ助けとなります。

Naches Heights がワイン用ぶどうを栽培する地域として商業用に始めたのは、10 年足らず前で、農家の 3 代目である Phil Cline 氏が今までの畑をヴァインヤード(ワイン用ぶどう畑)に変えたのが始まりでした。現在は、この地域には Naches Heights と Wilridge Winery の2つのワイナリーのみですが、他の醸造家や栽培家達に移り始めています。

栽培面積は現在 40 エーカー(16 ヘクタール)で、環境保全型、バイオダイナミック、有機栽培のいずれかの農法を営んでいます。年間降水量は、10-13 インチで、高い標高の為、比較的冷涼な気候です。

AVAとして承認され、2012 年 1 月 13 日には the Federal Register (連邦政府の登記)にも公表されるので、85%以上この地域から取れたぶどうを使っているワインには、Naches Heights のAVA名をラベルに表記出来るようになります。

以上

連絡先:

ワシントンワイン協会日本代表事務所

日本代表 播摩 朱美

住所: 〒658-0047 神戸市東灘区御影 2-2-5-602

Tel: 078-767-3444 Fax: 078-854-7271 E-mail: info@washingtontwine.jp